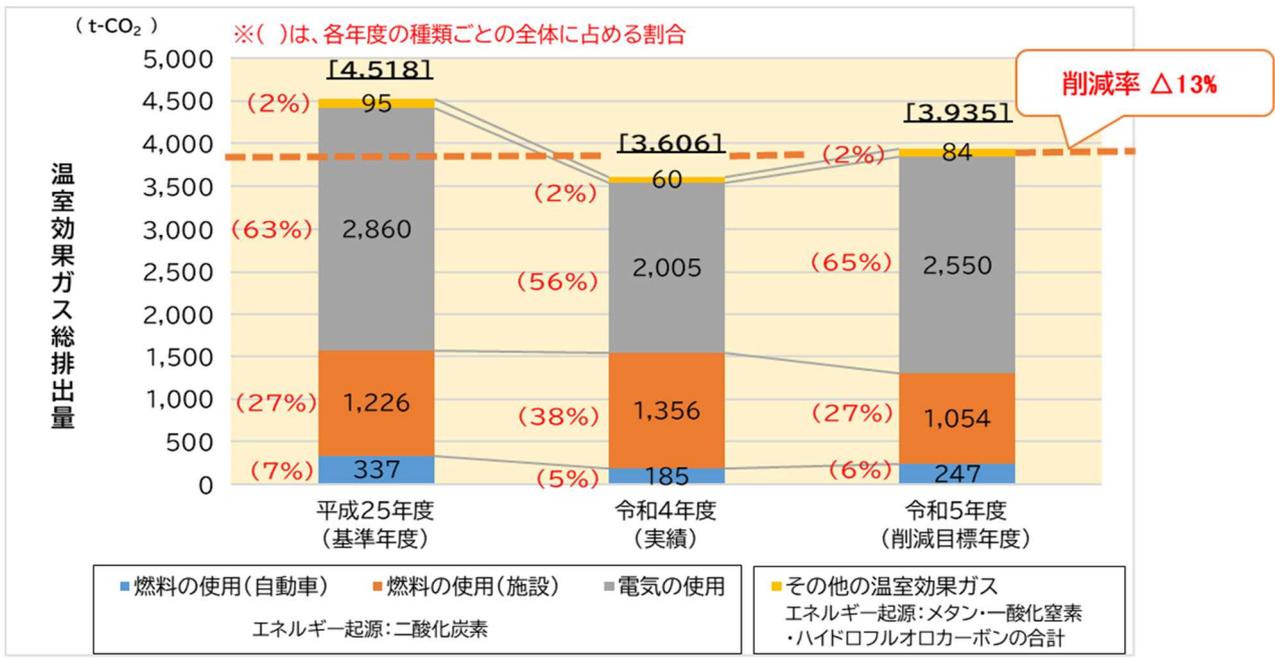


令和4年度 温室効果ガス排出量結果

※端数処理のため合計が合わない場合があります。

(単位:t/CO₂)

ガス種及び排出要因		基準年度	実績		削減目標年度	
		平成25年度	令和4年度	削減率	令和5年度	削減率
エネルギー起源 二酸化炭素	燃料の使用 (自動車)	337	185	△ 45.1%	247	△ 26.8%
	燃料の使用 (施設)	1,226	1,356	+10.6%	1,054	△ 14.0%
	電気の使用	2,860	2,005	△ 29.9%	2,550	△ 10.8%
		4,423	3,546	△ 19.8%	3,851	△ 12.9%
メタン		59	41	△ 30.9%	52	△ 11.5%
一酸化二窒素		34	18	△ 48.9%	30	△ 12.6%
ハイドロフルオロカーボン		2	1	△ 23.0%	2	△ 6.6%
		4,518	3,606	△ 20.2%	3,935	△ 12.9%



《総評》

令和4年度の温室効果ガス総排出量は、基準年度(平成25年度)と比較して約20.2%(912t-CO₂)の削減となり、削減目標年度における温室効果ガス総排出量の削減率を達成することができました。

その主な要因としては、前計画から引き続き設定した「市職員の率先行動」に基づく、昼休み時間帯の消灯等による節電対策等の実施、また、過去に行ったLED照明機器の導入や空調設備の使用燃料の切替等が成果として結果に繋がったと考えられます。前年度比で見れば温室効果ガス総排出量は増加という結果となりましたが、これは総合福祉センターの工事に伴って休館していた温泉施設等が再開したことによる影響が特に大きな要因であったと考えられます。

総合福祉センターの施設再開等に伴い、令和5年度からは今年度以上に電気や燃料の使用量が増加することが予想される為、今後も引き続き職員一人ひとりが計画に基づいた取り組みをし、排出量の削減を継続していくことが目標達成に必要不可欠であると考えています。